

平成 25 年 4 月 吉日

施設長 様
看護部長様

姫路赤十字病院
院長 佐藤 四三

「がん化学療法セミナー」ならびに「化学療法看護研修会」開催について

三春の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当院では、兵庫県中播磨圏域における地域がん診療連携拠点病院として、標記研修会を開催いたしますので、貴施設の皆様にご参加賜りますようお願い申し上げます。

記

がん化学療法セミナー

開催日：平成 25 年 5 月 30 日（木）・31 日（金）

対 象：臨床研修医、医師、薬剤師、看護師

※日医生涯教育講座単位取得については、現在申請中です。

	取得単位	カリキュラムコード
5 月 30 日（木）	5 単位	1、2、5、8、9、18、22、45、51、52
5 月 31 日（金）	5 単位	4、6、10、16、17、68、69、70、80、81

化学療法看護研修会

開催日：平成 25 年 7 月 2 日（火）・19 日（金）

対 象：看護師 ※申込書記載の参加要件を満たした方に限ります

会 場：姫路赤十字病院 多目的ホール

内 容：別紙をご確認ください

受講料：無料

お願い：5 月 20 日（月）までに参加申込書に必要事項を記載いただき FAX もしくは E-mail にてお申込み下さい。受講決定後、アクセスならびに詳細について記載しました登録証をご本人様宛に郵送します。

お問合せ：姫路赤十字病院 総合相談支援課 担当：埴岡（事務）

〒670-8540 姫路市下手野 1 丁目 12-1

TEL・FAX：079-299-0037（直通）

E-mail：soudan@himeji.jrc.or.jp

■ 展開表

第1部:平成25年5月30日(木)

	方法	内容	時間	担当	備考
		開会の挨拶	9:10 ~9:20		
展 開 I	講義	1. がん化学療法の概要	9:20 ~9:50	平松靖史 (血液腫瘍内科部長)	適宜休憩
	I	1. がん化学療法の基礎知識 ・細胞障害性薬 ・分子標的薬 ・レジメの基本	9:50 ~12:00	島田健 (がん薬物療法認定 薬剤師)	
昼食 (60分)					
展 開 II	講義	1. がんの病態と化学療法 (1) ・胃がん ・大腸がん	13:00 ~14:40 (各50分)	松本祐介 (内視鏡外科部長) 渡邊貴紀 (第二外科副部長)	
	休憩 (10分)				
	講義	1. がんの病態と化学療法 (2) ・乳がん ・血液がん	14:50 ~16:30 (各50分)	渡辺直樹 (乳腺外科部長) 平松靖史 (血液腫瘍内科部長)	
	講義	1. がんの病態と化学療法 (3) ・肺がん	17:30 ~19:30	木浦勝行教授 (岡山大学病院 呼吸器・アレルギー 内科長)	

第2部:平成25年5月31日(金)

	方法	内容	時間	担当	備考
展 開 III	講義	1. がん薬物治療の問題点と対処法① ・抗がん剤 副作用と取扱い注意点 血管外漏出	9:00 ～10:30 (各45分)	島田健 (がん薬物療法認定 薬剤師) 最所裕司 (形成外科部長)	
		休憩 (10分)			
展 開 IV	講義	1. がん薬物治療の問題点と対処法② ・抗がん剤 アレルギー・ショック ・ポート トラブル	10:40 ～12:00 (各40分)	八井田豊 (救急部長) 戸田桂介 (内視鏡外科副部長)	
		昼食 (60分)			
展 開 V	講義	1. がん治療の安全管理	13:00 ～14:00	坂本佳代子 (医療安全管理者)	
展 開 VI	講義	1. チーム医療① ・緩和ケア	14:00 ～14:50	仁熊敬枝 (緩和ケア部長)	
		休憩 (10分)			
	講義	1. チーム医療② ・精神腫瘍学	15:00 ～16:00	内富庸介教授 (岡山大学病院 精神科神経科長)	
		閉会の挨拶	16:00 ～16:10		

第3部:平成25年7月2日(火)

	方法	内容	時間	担当	備考
展 開 VII	講義	1. オリエンテーション 2. アイスブレイキング 3. がん患者の疑似体験	9:00 ~9:50	北山さゆり (がん看護専門 看護師)	
	休憩 (10分)				
	講義	1. 静脈注射・輸液に関する感染管理の知識	10:00 ~11:00	八瀬和佳恵 (感染管理認定 看護師)	
展 開 VIII	講義	1. 中心静脈ポートの管理と看護 ・ 中心静脈ポートの管理 ・ 輸液中の観察ポイントと患者指導 ・ ポート穿刺の手順	11:00 ~12:00	中村孝子 (外来看護師長)	
	昼食 (60分)				
	講義 ワーク ショップ ①	1. 患者とのコミュニケーションと心理的サポート ・ 患者の心理を理解する ・ 相手を支えるために必要なこと、できることを 『聴く』体験を通して検討	13:00 ~14:30	古好佳代 (臨床心理士)	
休憩 (15分)					
	講義	2. セルフケア支援の視点から見た 症状マネジメントと患者教育① ・ 症状別によるマネジメント (嘔気・嘔吐・骨髄抑制・脱毛・口内炎・粘膜 障害・便秘・下痢・神経障害・腎障害・肝障 害・心障害)	14:45 ~17:00	石原里美 (がん化学療法看護 認定看護師課程修了)	適宜休憩

